

みんなボランティア

166号

新しい発見・出会いの場を創造するボランティア情報誌
発行：宝塚社協ボランティア活動センター

地域の皆さんと一緒に。初めてやりました！ 災害ボランティアセンター運営訓練～シリーズ②災害時を考える～

宝塚市に災害が起こったとき、ぷらざこむ1に災害ボランティアセンターが立ち上がることを知ってもらうことを目的とした今年1月の立ち上げ訓練に続いて、6月18日には、その災害ボランティアセンターの運営を市民の手で担うことを目指してぷらざこむ1の施設全体を使った本格的な運営訓練を実施しました。

ボランティア活動センターの登録グループ、地域の皆さま、コープこうべ第1地区活動本部、宝塚市役所関係諸課、応募いただいた市民等、多くの皆さまとの協働により開催が実現し、当日は130名の参加がありました。

訓練内容については次年度への改善点をたくさん共有することができました。また、訓練当日までに数回実施した打合せ会と称する話し合いの過程こそが、平時からの顔見知りの関係につながる何よりも大事な営みであったとの感想をたくさんいただいています。



今から他県災害ボランティアセンターのDVD鑑賞と役割の説明を始めます。



参加者にやりたい役割を選んでもらうため、各班の説明とリーダー紹介



流れの説明を聞いたあとは、本番さながら災害ボランティアセンターの受付に向かいます。



緑のジャンパー着用者は「駆けつけボランティア」役の方。受付に並んでいます。



ボランティア保険への加入は災害ボランティア活動のための必須条件です。



活動の前に、受付班（ベスト着用）から全般注意事項をきいている駆けつけボランティア。



本日のニーズ（依頼が来ている活動内容）の概要についてコーディネーター班から説明を受けます。



「一緒に活動現場に向かうチームです。どんなリーダーをお願いしますか？」



その間に資機材班は貸し出し機材を整理してスタンバイ！



本日のニーズの一つ。屋根に見立てた軽トラックのブルーシート張り。



泥かきに見立てたブルトップを集めるボランティア活動者



活動後は全体で振り返り会を。たくさんの意見や気づきがありました。

〈聴覚障がいの皆さんと考える避難所運営訓練〉

聴覚障がいをお持ちの方と共に、災害時の避難所運営について考え、避難所運営訓練を行います。

日時：10月21日（土）10：00～13：00

場所：ぷらざこむ1 3Fフリールーム 対象：関心のある市民 費用：無料

定員：20人（要予約・先着順）お電話またはFAX、窓口にて受付。〆切9月30日（土）

申込み・問合せ：宝塚社協ボランティア活動センター

主催：宝塚広域ボランティア連絡委員会

